

(科目コード : 8008220006AA)

【改訂】第27版(2013-07-30)

【科目】インターンシップ

【科目分類】 専門科目 【選択・必修の別】 必修

【学期・単位数】 通年・1単位

【対象学科・専攻】 生産システム,環境 1年

【担当教員】 前期:大和田 恭子

後期:大和田 恭子

【授業目標】

社会の中で技術者が経験する実務上の問題点, 課題の内容や対応のしくみが理解できる。
技術を役立て, 企業, 機関として運営していくためのしくみ, 方策, 価値観等を理解できる。
幅広く一般的な技術者として社会常識も備えて, 課題解決に向けた対処ができる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は22.5時間である。

実習先は原則として群馬県内の企業、官庁等である。学生本人が企業担当者の指導を受けながら、実習先に一定期間(2週間)就業し、実務を通して工学を学ぶ。

実習先は各学生の希望をできるだけ優先するので、各学生から提出された実習先希望票に基づいて、実習先の選定を行う。ただし、教育効果や受け入れ先の意向等を考慮して、学生本人の希望とは異なる実習先に決定せざるを得ない場合もある。

終了後、全学生参加のインターンシップ報告会が開催されるので、自らの就業体験について発表を行い、質疑応答を行う。

【成績評価方法】

[前期]実習先の企業から終了後に送られてくる実施証明書に記載されている評価、および日誌、報告書、インターンシップ報告会での発表等を総合して評価する。基準となる判断項目の重みは以下のようである。実施証明書の評価：70%(日誌、報告書 20%を含む) 報告会での発表の評価：30%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	社会の中で技術者が経験する実務上の問題点, 課題の内容や対応のしくみを実務的な現場で体得するとともに, 技術を役立てていくためのしくみ, 方策, 価値観等が理解できる。	100 %	

【本校の学習・教育目標】

(B-2) 設計・システム系、情報・理論系、材料・バイオ系、力学系、社会技術系の基礎工学科目の学習を通して、各分野の工学の基礎知識を広く修得する

(C) 技術的問題解決のための専門分野の知識を身に付ける

各専攻分野における専門科目を総合的に学習することにより、技術的課題が解決できる

(D-1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、創造性を発揮して現実の技術的課題の解決に応用できる

(D-3) 実験・実習科目の修得を通じて、自主的、継続的、そして計画的に学習できる能力を獲得する

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】(インターンシップ)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	実習先の指定するテーマ	実習先の指定するテーマに関する就業体験を実習先の指導の元で実施する。	インターンシップ日誌 インターンシップ報告書	